第 10 回環境影響評価審査会 事 務 局 資 料 平成 29 年 12 月 25 日

横浜港新本牧ふ頭地区公有水面埋立事業環境影響評価方法書に関する検討事項一覧

この資料は本件に関して、審査会から横浜市に提出される答申の内容を検討するための資料です。これまでの調査審議の内容を確認し、下表の項目・検討事項・内容を元に答申案を作成します。

■ 事業計画について

項目	検 討 事 項	内容
事業計画	図書作成	根拠を明確にし、分かりやすく丁寧に説明すること。
	工事計画	工事計画の具体化に当たっては、環境に配慮した最良の技 術を導入するなど、より一層の環境影響の低減について検
		討すること。

■ 環境影響評価項目について

【工事の実施】

	,u	
評価項目	検 討 事 項	内容
大気質		
騒音		
振動		
水質		
水底の底質		
動物、植物、 生態系	予測及び評価の手法	定量的な予測及び評価の手法を検討すること。
人と自然と の触れ合い の活動の場		
廃棄物等		
温室効果ガ		
ス等		

この資料は、審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることもありますので、取扱にご注意願います。

【埋立地の存在】

評価項目	検 討 事 項	内 容
水質	調査地点等	環境影響評価の実施中に、埋立地の突端部等の調査の必要性が生じるなどの新たな事実が生じた場合は、必要に応じて調査地点等の再検討を準備書で行うこと。
水底の底質		
地形及び地 質		
動物、植物、生態系	調査地点等	環境影響評価の実施中に、埋立地の突端部等の調査の必要性が生じるなどの新たな事実が生じた場合は、必要に応じて調査地点等の再検討を準備書で行うこと。
	予測及び評価の手法	定量的な予測及び評価の手法を検討すること。
景観		
人と自然と		
の触れ合い		
の活動の場		